



# にじのはし

学校だより

豊かな心を持ち夢や目標に向かって自ら考え取り組む児童の育成を目指して



発行日  
R6.1.23  
発行者  
新垣 典彦



## あけまして おめでとう ございます

2024年(辰年)がスタートしました。辰年は、文字通り「大空を駆ける龍」の年です。「成長や開運」といった運氣UPのイメージがある反面、「変革や激動」といった時代を動かすような出来事がある年だと言われています。

実際に「東海道新幹線の開業」「東京オリンピックの開催」「青函トンネルの竣工」「東京スカイツリーの開業」等とともに「ロッキード事件」「リクルート事件」等、社会に大きな影響を与える出来事があった年のようです。

今年も「北陸の震災」があり、子供達には「命の大切さ」や「日常の尊さ」を黙祷のあと伝えました。亡くなられた方々のご冥福と震災で苦しむ方々の日常が一日でも早く取り戻せるよう願うばかりです。また、被災された方々に「何もできない」思いを持つよりも「今を元気に、一生懸命生きる」「周りの人を思い、日々を大切に過ごす」ことが復興への応援になり、自分事(もし自分達だったら)として震災を考えるきっかけになればと思います。

「困難や課題を共に考え、自ら乗り越える」その先に本当の意味での「生きる力」があることを信じて、子供達のために今年も学校・家庭・地域で何ができるのかを模索して行きましょう。ご協力宜しくお願いします。

## 福祉講話(全盲)

11月24日(金)は、4学年で目の見えない仲宗根さんを迎え、見えないことへの困難さや工夫した生活についてお話を頂きました。

真っ暗な世界で、私達には想像もできないほど

の困難さをかかえているにも関わらず、最後まで笑顔でお話される姿に、エネルギーをもらった気がします。また、講話後には、様々な工夫が施されたグッズに触れさせて頂きました。



絵本、迷路、そろばんなど驚くほど進化してます。



特に、絵本の動物の手触りの心地よさ、迷路の難しさ

(見えるから難易度が高い)を感じました。ご協力頂いた市社会福祉協会の皆様にも感謝いたします。

# たからものランド

11月29日(水)は、保育園・幼稚園・こども園の年長さんを迎える「お招き会」の日でした。秋らしい松ぼっくりや大きな枯れ葉も使って、1年生の教室が楽しそうな空間になっています。



つり・迷路・ガチャ? おもてなしのグッズやゲーム等を自分達で考え、手作りした1年生



プレゼントも用意して、参加した未来の後輩達もだんだんと笑顔があふれるようになってきました。



役割もちゃんと決めて、司会も堂々としている1年生、もうすぐ入学して10か月になりますが、2年生になる準備はできているようですね。頼もしい。

# 地区音楽発表会



12月1日(金)は、4年生有志が、学校代表で島尻地区の音楽発表会へ参加しました。そう、30名近くの校内オーディションで緊張していた子供達(10月号参照)です。練習を積みたくましくなった姿を、驚くほど上達した歌声で披露してくれました。(学校新聞に活用するというので撮影許可が下りた)

終了後は、子供達からの感謝と指導者からの感謝の言葉もありました。心打たれる瞬間ですね。涙する子もいましたよ。

# 助け合いの輪



12月には「歳末助け合い募金」の活動をボランティア委員の皆さんが中心になって取り組みました。12月21日(木)には、社会福祉協議会の皆様を迎え引き渡し会を行いました。一人では抱えきれないほどの重さに、子供達、保護者の皆様の温かい心を感じました。